

一般質問  
11議員登壇

# 市政を問う

## フラワーパークは中止を

市長／中止は考えていない



徳峰 一成 議員

**徳峰議員** 立場や党派を超えた市民230名が9月9日、フラワーパークの中止を求めて集会を開いた。所見を聞きたい。

**池田市長** 反対の意見だけでなく、賛成の意見もある。事業の中止は考えていない。

**問** もっとも心配されるのが、維持管理費の赤字の増大である。指宿のフラワーパークは、年間17万人の入園者を確保するのに2億1千

万円の赤字である。ところが曾於市のフラワーパークは年間10万人の入園者を確保するのに200万円から400万円の赤字で済むといった計画である。市長は、この計画に自信があるのか。

**市長** 自信を持って出した数字である。

**問** しかし多くの市民はもし大きな赤字になったら市長の全財産は市に提供する。そうした強い決意がなければ率直に言って市長答弁は空答弁、空約束に感じるのはないか。

**市長** 野暮なやり方でありそれはできない。



高峠のつつじヶ丘公園（垂水市）

**問** そうであるなら曾於市が計画している多くの入園者と少ない赤字で運営されているフラワーパークが全国で一例でもあるのか報告されたい。

**市長** そうした事例は把握していない。

**再生可能エネルギー  
でまちおこしを**

**問** 大事なものは、地元の雇用や企業にプラスとなる、まちおこしにつながる取り組みを目指すことではないか。次の二点を提案したい。早急に副市長をキャ

ップに対策委員会を設置して、そのもとで総合的で幅広い調査と研究を行うべきではないか。

必ず曾於市に合ったバイオマス、太陽光、風力、水力などを使っ

た施策が見えてくるのではないか。

**市長** 副市長を中心にチームをつくり対応していきたい。

**問** 2点目。加えて一般市民や農家・企業に対する市独自の支援は、こうした総合的な再生可能エネルギーのあり方を研究するなかで、積極的に進めていくべきではないか。

**市長** 今後チームをつくり方向性が見えたら支援していきたい。



バイオマスシステム  
(岩手県葛巻町役場より提供)

# 山中貞則顕彰館の開設をいそげ

市長／記念的な日を考える



迫 杉雄 議員

**迫議員** 顕彰館オープンについての整備状況はどうか。

また、山中氏の生涯の偉業について政治的、人間的にどのような力点をおいて考えているか。

**池田市長** 現在、山中氏の所蔵品の点数等を的確に把握し、展示に向けて取り組んでいる。

偉業については、昭和22年に県議会議員、昭和28年に衆議院議員に当選され、17期衆議院議員として国政、郷土の発展に貢献された。

特に、沖繩を本土復帰させ沖繩開発庁初代長官に就任された。

**問** 『働哭』並びに『南回帰線』を出版されており、歌人としても多くの短歌も詠まれていることから歌碑も建立すべきではないか。

同時に吉井画伯、財部の愛甲兼達氏に加え、高木秀吉氏も考えたらどうか。

**市長** 市内三町から広く考えて検討したい。

**問** 顕彰館のオープン時期について、平成25年2月20日の10年祭は考えられないか。



山中顕彰館（末吉町深川）

**市長** オープン時期については、何か記念的な日を選ぶことは必要である、寄付の集まり具合と考えるながら対応したい。

## 山城跡の今後の対応は

**問** 恒吉城の史跡公園としての整備と、地域住民への理解と協力、また現在までの対応はどうであるか。

**植村教育長** 恒吉城跡保存整備事業は史跡公園として整備することが目的である。

文化庁や県文化財課の指導をうけ、遊歩道の整備、及び地形的特長や歴史的役割等を学習できる見学場所等を設置する必要がある。

今年12月に開催するシンポジウム等で地元の方々や市民に発表するとともに保護、保

存に対する啓発を行い、まちおこし等への活用を図っていく。

**問** 平松城跡の周辺を都城・志布志高規格道路の予定地が考えられるが対応は。

**市長** 計画区間として県や関係機関に配慮してもらおうようお願いしている。

**教育長** 都城・志布志高規格道路の建設予定地となる可能性があるというが、正式には何も聞いてない。そこで事前に配慮されるよう県への要望に努めたい。



教育委員会提供

平松城址（末吉町橋野）



# 胡摩地区がなぜフラワーパーク建設予定地か

市長／事業費が安価で高齢者への負担が少なく交通アクセスが良い



原田 賢一郎 議員

**原田議員** 建設予定地は大型養豚、養鶏場等、畜産農家が最も集中しているところであり畜産を振興する地域で、公園建設にはふさわしくないと考えるが、その最適地の理由は何か。

**池田市長** 建設予定地は平坦で事業費が安価で済む、高齢の来客者に負担がかからない、また交通アクセスが良いことが理由である。

**問** 口蹄疫・鳥インフルエンザ等がまた国内に発生したら最悪の場所ではないか。

**市長** 本市は畜産の町である。これらのウイルスの侵入を防ぐため近隣の市町と連携し消毒箇所の設置など侵入させない防疫体制を整えている。

**市長** 本市は畜産の町である。これらのウイルスの侵入を防ぐため近隣の市町と連携し消毒箇所の設置など侵入させない防疫体制を整えている。

## 市道、農道の高所伐採作業は

**問** 高所伐採作業が必要な市道農道の路線数とその延長は町ごとにいくらか。

**市長** 市道については末吉町49路線で6・9km、大隅町66路線16・8km、財部町5路線1・4kmである。農道については末吉町9路線2・0km、大隅町25路線3・1kmが必要である。

**問** 町ごとの年次計画を立てそれに基づく伐採作業を実施すべきでは。

**市長** 今後さらに伐採の必要な箇所等の調査を行い検討していく。

## 人間ドック助成は

**問** 75歳以上の人間ドックに対する助成措置は考えられないか。

**市長** 市の集団検診において基本検診・各種がん検診等で受診でき、大部分の検診項目が無料で受診できる。人間ドック助成は考えていない。

## 温泉保養券の

### 選択肢は

**問** 年一人当たり温泉宿泊保養券と日帰り保養券合計金額1万1千円の予算がある。その範囲で宿泊と日帰りを自由に選択できないか、その考えは。

**市長** 国民健康保険温泉保養所利用規則があり、宿泊と日帰りを自由に選択することはできない。今後については利用状況、保養効果、他市町村の状況及び、国保特別会計の収支状況等総合的に勘案し、検討する。



口蹄疫時の消毒作業



伐採作業後の市道



キャラクター薩摩剣士隼人

**九日議員** 本市のPRシンボルとイメージアップの一環として親しみの持てるイメージキャラクターの制作検討は。



九日 克典 議員

**池田市長** 市の特徴を表現したキャラクターは、イベント、各種キャンペーン、地域おこし、特産品の紹介など観光PR、及び販売促進活動において非常に有効なので、制作について今後検討する。

## 曾於市のイメージキャラクター制作は

市長／PRに有効であり今後検討する

**問** 農業・企業・学校の連携による農畜産物のブランド化推進は。

**市長** 甘藷を加工する技術や工程を、企業と連携して焼芋を販売したり、末吉高校では、ゆず等を使った加工品販売をはじめ、企業と連携している。今後、このような取り組みがさらに伸びるのではないかと思う。

県では、大隅半島を食料供給基地と位置づけ「農業・加工技術研究施設」の整備が始まる。農業者と企業、あるいは研究機関との情報交換や交流等検討されている。

本市では、連携できる機会を充分に作ることで、農業・企業がともにもうるおう特産品づくりができればと考える。

### 曾於市内各小学校における抽出危険箇所数

町名	学校名	抽出危険箇所数
末吉 (97箇所)	末吉小学校	15
	櫛小学校	5
	高岡小学校	3
	岩北小学校	15
	岩南小学校	14
	諏訪小学校	26
	光神小学校	6
	深川小学校	1
大隅 (69箇所)	柳迫小学校	12
	岩川小学校	20
	菅牟田小学校	3
	笠木小学校	6
	大隅北小学校	10
	恒吉小学校	11
	大隅南小学校	13
財部 (79箇所)	月野小学校	6
	財部小学校	44
	財部北小学校	20
	財部南小学校	12
計	中谷小学校	3
		245

※ 24年4月から5月にかけて調査し、市教委から各小学校に対して、安全点検結果をまとめた校区安全点検マップ等の提出を求めた結果がこの表である。

### 通学路の安全点検について

**問** 交通安全の観点から市内の通学路に危険箇所が何箇所ほど抽出されたか。



歩道のない危険な通学路

**植村教育長** 全国で登校中の児童が巻き込まれる交通事故が相次いだため、各小学校でPTA、地域住民、校区公民館役員、民生委員、児童委員、スクールガード等と学校が連携し、校区・通学路の安全点検を行った結果、危険箇所は合計245箇所であった。

**問** 危険箇所の対策は。

**教育長** 実際、現場での具体的な安全指導や校区安全マップ等を作成し、家庭への啓発・地域への情報提供を行う。

今後とも、保護者や地域住民、関係機関と密接な連携を図り、環境整備・朝の登校指導等通学路の安全対策や点検を推進する。



# 市長選挙出馬を問う

市長／三期目に挑戦したいと思っている



五位塚 剛 議員

**五位塚議員**

来年7月は市長選挙であるが、池田市長は再度出馬する考えはあるのか。

**池田市長**

政策についても評価をいただいている。パークゴルフ場・フ

ラワーパーク公園事業についても完成したいので三期目も挑戦したいと思っている。

## C型肝炎対策を求める

**問** 市民のなかでC型肝炎からの原因で亡くなる方も多い。

今も苦しい中治療されている方に対して市として支援策は考えていないか。

**市長** 22年度はC型肝炎からの病気で亡くなられた方24名となっている。現在治療中の方が165名おられます。現在県の肝炎治療費補助制度で自己負担限度額2万円までの支援策がある。

**問** C型肝炎については自覚症状がないこともあり都市のように積極的な広報活動で早期発見早期治療が大切ではないか。

**保健課長** 今年から40歳以上5歳ごと肝炎検査事業を始めた。広報と検査については検討していく。

## フラワーパーク建設は中止の決断を

**問** フラワーパーク建設については大多数の市民が反対であると思っている。民意を尊重する気持ちはあるか、所見を求める。

**市長** 建設については反対の方がおられることは承知しているが、賛成の方が多いと思っている。

**問** 市長選挙時の新聞や、池田市長のパンフレットでもフラワーパーク事業について一言もふれていない。どう思うか。

**市長** 紙面の都合で書かれてなかったのだと思う。



弁当をひろげて調査

**問** 胡摩地域では未登記34筆の土地取得はできないと思うがどうか。

**企画課長** 自治会共有など相続できない可能性が高いと思う。

本としている。

**問** 世界のツツジを進めると言われたがどこの国のツツジか。

**市長** まだ決めていない。

**問** 議会は市民の代表であるから議会の議決は尊重しなすと言っているが、議会が否決したら尊重するか。

**市長** 議会は認めてくれると思っている。

**市長** 食事はクラブハウスで食べることを基



独自でのハ工調査（胡摩地区）

# 学力向上を図れ

教育長／曾於市教育界の大きな課題である



土屋 健一 議員

**土屋議員** 本年度の全国学力テストの結果が出た。鹿児島県は中学校全科目で平均以下である。

小学校では理科だけが上回っている。学力が高いということは、家族、地域、学校の喜びである。学力向上を図るべきではないか。

**植村教育長** 市町村の分析はまだ受けていない。学習態度を育成したい。教師の指導力も向上させねばならない。

市教育委員会の方針の理解を徹底させるための方策をとる。

また、家庭における教育力の向上は不可欠であり、家庭と連携をとりながら向上させたい。

**問** 全国一位は秋田県、二位は福井県だが、本県との違いは何か。

**教育長** 本県の児童生徒は、基礎的知識は身につけているが、その知識を活用したり説明するのが苦手であると結果が出ている。

上位の県は、家庭や地域・大学の協力も厚い。教育意識、宅習システム、少人数指導等取り組みの差があると思われる。



財部中学校新校舎

**問** 鹿児島県の授業力向上プログラム、小・中連携をどう受け止めているか。

**教育長** 中学校全教師が3年に一回は研究授業を行う。教師力の向上につながる。小・中連携は重要な視点。

今年度から末吉、大隅、財部の各地域に分け、研修会を年2回追加する。県の方針を大切にして取り組んでいく。

## 滋賀県大津市の問題について

**問** 滋賀県大津市の不幸な事件をどう受け止めているか。

**教育長** 生徒の異変を見逃したり、相談を受けても対応が軽かったのが問題。

後にアンケートを実施しても十分な検証がなかったこと、マスクミヤ保護者への対応も

後手に回ったこと、学校と教育委員会の連携を密にして初期対応を適切に行う必要があったと思う。

**問** 曾於市のいじめ対策は万全か。アンケート調査は実施したのか。

**教育長** 無記名のアンケートは実施している。

早い段階で兆候をつかみ早く解決することが大切。

未然防止に最大限の努力をする。

学校と教育委員会で情報を共有していきたい。今、文科省の依頼によりいじめ問題の緊急調査が行われている。調査を待ち、曾於市の児童生徒の育成に役立たい。



元気よくサッカーをする末吉小の児童



# 憶小学校の 学習農園について

市長／農業委員会に再申請する



今鶴 治信 議員

**今鶴議員** 社団法人「憶教育会」が所有する水田を市へ贈与する旨の申請が農業委員会です不許可になったがその理由は。

**農委会長** 現地調査した農業委員の報告につ



憶小児童によるアイガモの放鳥



いて他の農業委員からの質問があり、曾於市への贈与は法人税等を減免する目的なのか理由がわからない。再調査すべきという意見もあったが、多数決の結果不許可になった。

**問** 曾於市は農地を所有できるか。

**農委事務局長** 農地法施行令第6条の項で「地方公共団体がその権利を取得しようとする農地を公共用、また

は公共用に供すると認められること」とあるので可能である。

**問** 憶小学校の学習農園は、総合学習の一環としてアイガモ米や甘藷を植えて学校給食にも利用されている。

曾於市へ贈与して学習農園としてこれからも利用したいが、再申請は可能であるか。

**市長** 農業委員会に再申請する。

**問** 曾於市の春キャベツの面積は。

**市長** 平成23年度の春キャベツの面積は44haである。

**問** 5月、6月の高温期に入るとキャベツの品質が低下するので野菜保冷施設がどうしても必要だが、その計画はあるか。

**市長** そお鹿児島農協においては、集出荷施設の計画を進めており、平成25年度国庫事業採択に向けて取り組んでいる。

**問** 真空冷蔵施設は、真空することにより酸素が排出され、冷却する時間は短縮し雑菌等の減少にも役立つが、導入計画は。

**経済課長** これから具体的に計画していくところなので、各関係機関と連携を図りながら検討していく。

**問** 霧島酒造が系統選抜した焼酎用黄金千貫のウイリスフリー苗は、かなり収量増の効果が出ているが育苗センターに導入できないか。

**経済課長** もし苗の入手が可能なら、育苗センターに導入したい。



スーパー黄金千貫

# 胡摩地区の排水対策と遺跡調査は

市長／実施設計の段階で検討していく



漆間 純明 議員

**漆間議員** フラワーパーク建設予定地の排水事業計画（雨水対策）は新設か、既設か。

**池田市長** 既設利用を考えている。

**問** 計画路線の決定はいつ頃か。

**市長** 実施計画の段階で検討していく。

**問** 路線内の水利組合数と受益面積は。

**企画課長** 水利組合は

7組合、受益面積は53haである。

**問** 地元（水利組合）等との協議はどのような形を考えているか。

**企画課長** 実施設計等ができあがってから説明、協議をしたいと計画している。

**問** 昨日答弁で、予算が凍結の段階では事業着手はできないとあったが、当初予算案、補正予算案を組むときは、職員で積算し概算であがつてくると思うが。

**市長** 関連事業での白毛川の改修は考えていない。雨量がどれくらいあるかをもとに調整

池をいくつ作るか決め、白毛川までもっていく。

**問** 優秀な職員が各課にいいことから、プロジェクトチームをつくり概算がつかめるのでは。

**市長** 市職員は他の事業があり、ほとんど委託事業でやっている。この事業も委託事業で進めていく。行政改革で職員数も減っていて外部委託せざるをえない。また、その方が安くつく。

**問** 雨水対策事業は当初予算13億642万円

の中に入っているか。

**市長** 調整池と白毛川までの水路工事は入っている。

## 遺跡調査事業について

**問** 当該地は縄文時代晩期の住宅跡が発見された。入佐遺跡に近い位置にあり、試掘の結果次第では本格的な発掘の可能性が高いとされている。今後の計画と調査費等について積算、及びその根拠を問う。

**市長** 分布調査、及び試掘を含む確認調査を

行って文化財の存在する範囲を確認し、その後必要に応じて本格的な発掘調査（本調査）に入る。建設予定位置の面積は15万㎡で分布調査に10日程かかる。その結果により試掘を含む確認調査を行う。今のところ調査費は算出できない。

**問** 調査費㎡／当たり1万円、有資格者調査員1人、年に5千㎡以下と現地説明会等で聞いたが。

**社会教育課長** そお生さいき健康センター建設地遺跡調査費は㎡／当たり6千円、面積1500㎡で900万円だった。地形条件によって違うと思う。

予定地は山林もあり小型ショベルも必要となるのでは。

今のところ見当がつかない。

**問** 発掘いかによって相当な経費と年月が

予想されるが、それでも事業を進める考えか。

**市長** 文化財があるのは覚悟しなければならぬが、その時の状況に対応しなければならぬ。調査費はほとんど国がみてくれると思う。

**社会教育課長** 公共事業にまつわる経費はほとんど国がみてくれると思うが、今回の事業は市単独事業であるため全額市の負担となる。

**問** 遺跡調査事業費は当初予算13億642万円の中に入っているか。

**市長** 全額入っていない。

**問** これだけの広大な面積では本市の専門職員だけで調査するのは厳しいのでは。

**市長** 本格的な調査になったときは県の有資格者職員をお願いする考えである。



遺跡調査（教育委員会提供）



# 閉校跡地利用は

市長／公募と解体等で進めている



山田 義盛 議員

**山田議員** 南之郷・財部南・財部北中学校の閉校施設は、閉校施設等活用基本方針により進められているが、その進捗状況と経過は。

**植村教育長** 南之郷中学校については、平成

25年度地域密着型サービス施設整備事業を実施する事業者の募集に手がけているところである。

財部北中学校及び財部南中学校については、  
①閉校施設を利用する民間企業者を、本年4月23日から6月26日にかけて公募した。

②その結果、財部北中学校に財部北校区社会福祉協議会、財部南中学校に(有)サイバーウエーブと(株)DIO(デイオ)ジャパンの2社から応募があった。

③8月2日に市の「規模適正化推進本部施設部会」で書類審査による「予備審査」を実施、8月22日に推進本部会により本審査を実施し、閉校施設利用団体を選定した。

④選定の結果は、財部北校区社会福祉協議会については



跡地利用が期待される旧財部南中学校

「**継続**」、(有)サイバーウエーブと(株)DIOジャパンの2社については「**適当**」とした。

**問** 平成17年3月に閉校になった旧大隅北中、恒吉中、月野中の閉校施設等について活用を検討しているのか。

**教育長** 3中学校の建物については、財産処分制限期間を経過した建物から年次的に解体

している。

その他の建物については、校区公民館や青年団、地域おこし団体等で資機材や物品等の保管場所として活用している。

また運動場は、グラウンドゴルフ同好会、スポーツ少年団等により活用が図られている。現在、大隅北中の運動場は、再生可能エネルギー事業での活用を協議中である。

**パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業について**

**問** 3月議会の付帯決議の中で、事業費2億5182万5千円については、特別委員会の結論を得るまで予算の執行は凍結となっているが、予算執行への思いは。

**池田市長** 現在、議会の意見を尊重し、事業を凍結している。環境調査が終わっているのので、1日も早く凍結の解除をしてほしい。

※継続…現段階での適否を保留し、継続審査とする。

※適当…閉校施設利用者として概ね適当及び適当である。



グラウンドゴルフ場として地域に開放されている旧恒吉中学校

# 大川原峽から関之尾滝間の 観光資源を活かせ

市長／早期整備に努める



山下 諭 議員

**山下議員** 財部の大川原峽と宮崎県関之尾間を結ぶ市道沿いの川辺は、多くの利用可能な観光資源がある。活かす考えは。

**池田市長** 当地は悠久の森、及び桐原の滝を中心とした大小様々な滝や溝ノ口洞穴等、自然に恵まれた風光明媚な景勝地がある。

この資源を活かすため霧島ジオパークによる散策ツアーの事前調査を都城市と連携して実施しているので、環霧島会議、及び定住自



風光明媚な三連轟さんれんとうどう

立圏広域的交流の観光部会で広域での取り組みについて検討していく。

**問** 市長等幹部は市道沿いの川辺の現地に行ったことがあるか。

大川原峽、悠久の森、キャンプ場、桐原の滝、三連轟、特に発電所下の滝、水力発電所、中州、黒隅、溝ノ口洞穴等原始が残る地域である。

**市長** 歩いて調査したことはないのですが、係に調査させる。

**問** この市道の川沿いの間伐等を実施すれば観光資源が見えてくる。看板もないが。

**市長** 現場を確認して対応する。



広々とした財部坂元分譲地

## 財部坂元地区の 住宅分譲地は

**問** 財部坂元地区に造成された住宅分譲地の造成の現状等は。

**市長** 分譲する宅地が5726㎡、緑地帯及び雑種地が4489㎡、集会場敷地965㎡、道路2554㎡である。区画が15区画で平均

面積382㎡（115・7坪）である。分譲価格は不動産鑑定評価及び分譲事業費を勘案して算定する。

**問** 分譲の受付等は。

**市長** 分譲は条例に基づいて行う。

主な条件は契約者が20歳以上から60歳以下で2人以上の家族構成、

契約日から3年以内に建築することである。

登記完了後に広報し、1カ月間程度受付ける予定である。

人口対策として市外からの40歳以下の家族持ちの購入希望者に対しては、分譲価格を勘案する予定である。

## 公営住宅財部 新規団地の場所は

**問** 本年に計画されている公営住宅財部新規団地の場所、規模は。

**市長** 場所の選定は、交通や学校、駅、病院等への利便性と日照、通風、排水等の条件を検討し、現在、財部町南俣字前玉地区の水田11筆について用地の取得を進めており、総面積7602㎡を予定している。

住宅計画は、鉄筋コンクリート造2階建て3棟30戸と集会施設等の建設を予定している。



# 国民年金収納率は

市長／66.6%である



大川原 主税 議員

**大川原議員** 曾於市の給付実態はどうなっているか。

**池田市長** 国民年金の業務は、主に日本年金機構で行い、市では加入や届出などの窓口業務である。給付状況に

ついては、平成23年度末で受給者数が1万4507人、年金受給額が98億9803万1100円である。

内訳として、老齢基礎年金の受給者数が1万3006人で、年金受給額が86億422万7800円、障害基礎年金の受給者数が1397人、年金受給額が12億2102万9100円、遺族基礎年金の受給者数が104人、年金受給額が7277万4200円となっている。

**問** 納付の年代別、男女別の状況はどうなっているか。

**市長** 曾於市で20歳代44・4%、30歳代60・8%、40歳代67・6%、50歳代74・8%となっている。

全体的には、曾於市で66・6%、鹿屋管内では63・1%、鹿児島県が57・2%、全国で



鹿屋年金事務所による巡回移動相談

は58・6%となっており、全国の収納率を8%上回っている。

**問** 免除申請の現状はどうなっているのか。

**市長** 23年度末で第1号被保険者5588人に対し、2309人が申請しており、免除率41・3%で内訳としては、法定免除者606人、申請免除者1338人、学生免除者365人となっている。

**問** 今後の取り組みは。

**市長** 納付の必要性や無年金者の防止を図るために、年金相談・パンフレット・市報等を通じて年金制度を周知し、保険料納付の奨励に努めていく。

**市長** 一期目の施策を踏襲しながら、政策実行計画の柱として5つの柱をたてて取り組んできたが、ほぼ達成、進捗している。特筆すべきは、健全財政の確立では着実に合併時からすると各種行財政指針が好転してきている。組織機構改革や、定員適正化計画が円滑に推進している。

口蹄疫の猛威から本市の主力産業を守り抜いたこと、曾於市の特産品16品目のブランド化にこぎつけたこと、各施設の充実、中学校、救急施設、農産加工、保健施設等である。生産基盤の整備・道路・交通通信網等分野で評価していただけるものと思っている。反省すべき点としては、人口減対策である。

## 池田市政について

**問** 二期目を振り返って評価すべき点、反省すべき点は。



曾於市特産品の並ぶ美食会会場（城山観光ホテル）